

奄美野生生物保護センター  
ニュースレター

# 奄美の風だより



大和村今里

新緑が芽吹き、鳥たちのさえずりも聞こえ、暖かい日差しに春の訪れを感じます。奄美では貴重な過ごしやすい季節ではないでしょうか。とても過ごしやすいので、梅雨くるなー、夏くるなー、湿度高いのやだー。と、このまま春が続けばいいなと思いつつ、早く海に入りたいなあ、ウミガメ早く見たいなあと真逆の思いもあり複雑です。

さて、3月7日にめでたく奄美群島国立公園が誕生しました。公園のテーマ「生命にぎわう亜熱帯のシマ～森と海と島人の暮らし～」。奄美群島は、国内最大規模の亜熱帯照葉樹林が広がるとともに、大陸や日本本土との分離・結合を繰り返した島々の地史を背景に、アマミノクロウサギをはじめとする多種多様な固有で希少な動植物が生息・生育しています。また、世界有数の速度で今も隆起するサンゴ礁段丘、琉球石灰岩の海食崖やカルスト地形、世界的北限に位置するサンゴ礁、マングローブや干潟等、多様な自然環境を有する地域です。これらの風景が我が国を代表する傑出したものであるということで国立公園に指定されました。また、このような自然環境の中での日々の暮らしで育まれてきた伝統的な人文景観も特徴的であるため、文化的な景観も国立公園に盛り込まれています。

自分たちが住んでいる場所をこのように説明されると、「ああ、奄美群島って本当によい所なんだなあ」と月並みな感想ですが、しみじみと感じます。みなさんはどう感じたでしょうか。何故指定されたのか。指定された日本を代表する景観を自分の目で見て、さまざまな奄美の姿を感じてほしいと思います。

(吉田)

# 今の時期に見られる動植物



マガキガイ（方言：トピンニャ、テラダ）  
房総半島以南に分布。旬は10月～4月。サンゴ礁の潮だまりなどに生息。姿は猛毒をもつイモガイに擬態していると言われている。



ウミウ  
九州以北で局地的に繁殖しているが、生息範囲は世界的にみると日本を中心にした狭い範囲に限られている。奄美群島には冬鳥として渡来。



キヌラン  
九州南部・屋久島・種子島・琉球列島などに分布。日当たりの良い草地に生える。花期は2～4月頃。



オオシマウツギ  
奄美大島・喜界島・徳之島のみ分布する固有種。低地～山地の林縁に生える落葉低木。変種のオオバナオオシマウツギが徳之島に生育する。



▲放鳥の様子。放鳥がうまくいかなかったので、再び保護し、療養中。

## 今季の一枚 「コアホウドリ」

日本では小笠原諸島の一部でのみ繁殖しており、子育てをする以外は太平洋上を飛び回って生活しています。奄美群島では、迷鳥です。センターで把握している範囲ですが、2013年9月に保護、その後死亡（センターではく製として展示）2016年12月に死亡個体を確認。2017年3月に保護した個体はなんと林内で発見され、現在も療養中です。センターが開所して16年間で3件しか確認されていません。なかなかお目にかかれない珍鳥ですので、見ることでとてもラッキーでした。



# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は  
**龍郷町**  
です



龍郷湾

龍郷町は、奄美大島の北部に位置し北部に東シナ海、南東部は太平洋に面しています。大島紬の代表的な銘柄である「龍郷柄・秋名バラ」は本町が発祥といわれています。

## 【ヒカンザクラ】

## 龍郷町の花

1月下旬から2月上旬、みごとな濃紅紫色の花を咲かせます。本町の本茶峠のサクラ並木は全国に先がけて春の到来を告げます。



おすすめ

## 観光名所「奄美自然観察の森/南洲流謫跡/新しい観光スポット」

### 【奄美自然観察の森】

奄美自然観察の森一体の長雲山系は、奄美大島北部を代表する天然広葉樹林で、ルリカケスやアカヒゲ、アマミナトウダイなどの奄美固有の鳥類や、植物の宝庫として知られ、奄美群島国立公園区域にも指定されました。奄美自然観察の森では奄美を代表する貴重な動植物を間近に観察しながら奄美の森散策を体験することができます。また、園内ガイドによる案内もありますので、どなたでもお気軽に奄美の自然を楽しむことができます。



オナガエビネ



アマミシカワガエル



アマミセイシカ

### 【南洲流謫跡】

1859年1月。後に明治維新で活躍する西郷南洲翁が砂糖運搬船「福德丸」から、龍郷阿丹崎の地に降り立ちました。この時、南洲翁は32歳でした。

南洲翁を抜擢した名君、島津斉彬が急死し、藩主となった島津久光から奄美大島に潜居を命ぜられ、失意の内にあったと言われています。

龍郷で暮らした3年間で、西郷は龍家の愛加那を妻に迎え、後の京都市長で本町の名誉町民である菊次郎と菊子の二人をもうけました。

南洲流謫跡では、ゆかりの品や勝海舟から贈られた碑文などが展示されています。



南洲流謫跡

### 【新しい観光スポット】

新しい観光のポイントとして、円集落にある「かがんばなトンネル」に沈む夕日と、赤尾木集落東海岸のハートロックが今脚光をあびています。  
(龍郷町 生活環境課)



かがんばなトンネル



ハートロック



# いきもののふしぎ ~ アマミハナサキガエルのお話 ~



ちょうど今の時期、アマミハナサキガエルの繁殖期です。アマミハナサキガエルの成体を見ることは難しくありませんが、その卵やおたまじゃくしはなかなか見ることができません。今回は、謎にみちたアマミハナサキガエルをご紹介します。

**ポイント** **アマミハナサキガエルとは？**  
奄美大島と徳之島にのみ生息します。県の天然記念物。環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。県の条例で捕獲・採取は禁止されています。森林伐採とマングースによって数を減らしていましたが、現在は防除事業の進展によりマングース数が減ったため、アマミハナサキガエルの数は回復傾向にあります。

## アマミハナサキガエルの形態と生態

山地に生息している  
産卵は溪流

★ 繁殖期は9月～5月

卵  
ゼリー状で白い

おたまじゃくし  
褐色の体に金色の斑点をもつ

ピキユピキユ

小鳥が鳴いているような声

★ スマートな体型

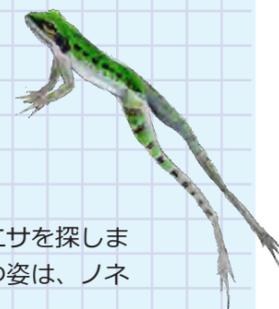
★ 頭胴長  
56mm～101mm

★ 多様な体色  
緑色、茶色、緑斑などなど  
個体によって変わってきます。

★ 長い後足  
後足の長さは奄美のカエルの中では一番で、  
大きなジャンプをします。

ミミズや虫などを食べる

見晴らしのよい場所で、体をピンと伸ばしてエサを探します。しかし、見晴らしの良い場所でその目立つ姿は、ノネコに捕食されしやう要因となっています。



## 繁殖のなぞ

アマミハナサキガエルの繁殖については、詳しく分かっていません。しかし、少しずつですが解明されてきています。

### 繁殖地のなぞ

アマミハナサキガエルの繁殖行動で特徴的なところは、繁殖の日が2～3日と限られていること、また一つの繁殖地に一斉に集まることです。ところがどういう条件で繁殖の日が決められるかはいまだ不明です。そのため、鳴き声を聞くことや繁殖行動を見ることはとてもまれです。



### ポイント

卵・おたまじゃくし・成体を狙って、さまざまな捕食者がやってきます。

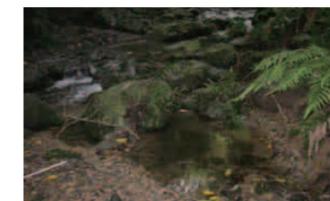


### おたまじゃくしのなぞ

褐色の体に金色の斑点をもつ美しいおたまじゃくし。実はおたまじゃくしが見つかったのは2006年のことで、まだ10年ほどしか経っていません。それまで見つかっていなかったため、どこでどんな暮らしをしているか分からない、幻のおたまじゃくしだったので。そして見つけたのは奄美野生生物保護センターの当時のアクティブレンジャーでした。初めて発見された場所は、奄美大島にある住用川の支流です。森の中を流れる溪流で、川岸が湾入して水の流れがほとんどなく、落ち葉がたくさん堆積した場所でした。

おたまじゃくしの生態を解明するため、アクティブレンジャーは月一回、同じ沢でおたまじゃくしの成長具合を調べることにしました。その結果、次のようなことが分かりました。

- オたまじゃくしは1月から7月まで見つかる
- 産卵期は9月～5月で、孵化したオたまじゃくしは次の夏までにカエルになる
- オたまじゃくしは3cmくらいまで育つ
- 1cmくらいのカエルになって上陸する



▲ 生息場所は落ち葉が堆積したよどみ



## まとめ

環境省ではマングースの防除事業を行っていますが、順調に事業が進んでいるため、マングースの数が減っています。それにより、さまざまな生きものの数が回復傾向にあります。アマミハナサキガエルもそのひとつです。数が増えたことによって、少しずつですがアマミハナサキガエルの行動が目につきやすくなりました。そのため、今まで謎だった行動が明らかになりつつあります。しかし、回復傾向にはありますが、まだノネコという存在があります。このまま数を増やすのか、また減ってしまうのか…。それは私たち人の行動によって変わってくるかもしれません。





あまみワイルドライフセミナー 奄美群島国立公園指定記念イベント  
アマミノクロウサギ特別講演会 in 大和村

と き：平成 29 年 2 月 25 日（土） 14：00～15：30

場 所：大和村防災センター（大和村思勝字永良 477-1）

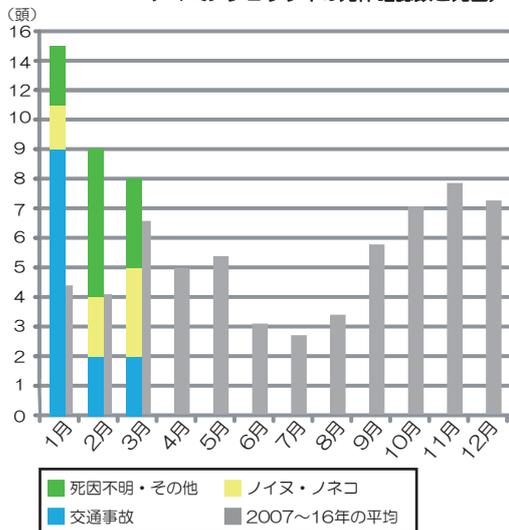
来場人数：160 名

貴重な未公開映像とともにアマミノクロウサギの生活や子育てについての紹介、大和小中学校の飼育記録、大和村内の最新の分布状況など、講演内容も充実しており、たくさんの方に来場していただきました。



## アマミノクロウサギ死体確認数

（2017年3月末日時点の  
アマミノクロウサギの死体確認数と死因）



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。



## 奄美に住む動物たちのために、あなたができること

### 安全運転

特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

### 犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べてしまうこともあります。

#### 捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。

#### 避妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないことと、ペットの健康を守ることにあります。

#### マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



#### 放し飼いをしない

ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

## 🐾 犬・ねこに関するお知らせ 🐾

ペットに対する、日頃からの災害の備えをしましょう。災害時に動物を守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。その他には、迷子になった時のためのマイクロチップや迷子札の装着。エサや薬など備蓄品の用意もおきましょう。また、ケージがあると避難する際や避難場所で役立ちます。

## いきものおもしろ写真館



クジラのブロー  
クジラのブローに虹がかかったきれいな写真です。この写真を撮るには、タイミングや気候などの条件があるのでなかなか難しい写真です。もうそろそろクジラが見れなくなってしまうので、今のうちに海にかけましょう！

## 編集後記



たまたま車から下りた林道上で、初めてアマミハナサキガエルの声を聞くことができました。はじめは、鳥が鳴いているのかと思いましたが、一緒にいたアクティブレジャーがアマミハナサキガエルの声だと教えてくれ、とても感動しました。